

環境みらい都市 事務局評価結果一覧（集計）表

整理番号	市町村名	アピール分野	評価値				加点	総得点	備考
			創意工夫	地域特性	地域連携	削減目標			
1	川口市	地域連携	18	14	32	14	2	80	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「エコライフDAY」の発祥地であること、川口市地球温暖化防止活動推進センターの設置を予定していること、電気自動車のカーシェアリングのモデル利用、中小企業の省エネ支援など、先進的な取組例が数多く見られ高く評価できる。</li> <li>・ひととおりの取組が揃っており、「地球温暖化」という呼称など意欲の高さがうかがえる。</li> <li>・「総花」的であり、独創的なアイデアや面白味に欠ける。</li> <li>・市民の立場にたった考え方ができていない。CO2削減効果も弱い。</li> </ul>
2	行田市	地域特性	12	24	12	10	3	61	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内防犯灯の全LED化、住宅用太陽光発電システムの普及率を全国トップクラスにする意気込みは評価できる。</li> <li>・「農業が盛んである」という自己分析があるのに、対策に生かせていない。森づくりや地産地消をCO2削減にも結びつけたり、農業を「利用」したエコな取組を考えてほしかった。旧城下町という歴史的な特徴も生かせなかったか。</li> <li>・いのちの森づくり事業（加点2）</li> </ul>
3	所沢市	創意工夫	28	8	6	14	1	57	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現物支給（地元農産物等）でCO2削減を促進する取組はユニーク。</li> <li>・所沢らしいにぎやかさと豊かな自然を生かした取組がほしい。</li> <li>・「温暖化防止活動奨励品」はユニークであるが、賞品でエコ活動を買うのは少々安易。もっと市民の力を信じて取り組むべき。</li> </ul>
4	東松山市	地域連携	12	12	28	12	2	66	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車使用の高い地域特性から、電気自動車の導入促進や自転車利用環境の向上・バイオディーゼル燃料化事業を推進している点がユニーク。</li> <li>・「市民共同」の視点があるのはよい。里山保全、自転車利用促進など地域特性も心得ている。取組が実際にどれほどの効果をもたらすのかの視点がないのがマイナス。</li> <li>・実行計画はないが、省エネビジョンはある。</li> <li>・取組が多様である（加点1）</li> </ul>
5	新座市	地域連携	12	14	28	10	1	65	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ設備への補助や市民団体との協働による緑のカーテンの実施、商工会と連携したアトム通貨の導入など、多岐にわたる取組は高く評価できる。</li> <li>・アイデンティティをつかみにくい市としては取組は多彩。逆にいえば芯がなく弱い。</li> <li>・アトム通貨はユニークだが、今ひとつ普及せず、どう使っていくかもみえないのが残念。</li> </ul>
6	宮代町	地域特性	12	28	8	6	1	55	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の基本理念である「農のあるまちづくり」を地球温暖化施策にもう少し結びつけたら評価が高まる。</li> <li>・「農のあるまちづくり」というコンセプトはいいが、それをどう生かしていくかはみえない。「新しい村」やみどりの保全などが環境保全にどうつながっていくのか。</li> </ul>
7	杉戸町	地域連携	8	8	28	8	1	53	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すぎと環境会議を中心に、行政と住民が一体となって取り組む対策が多く、今後の拡がりに期待が持てる。</li> <li>・杉戸町をどんなまちにしたいのかがみえない。アースDAYやエコライフDAYだけでは……。町民参加の視点がもっとほしい。</li> </ul>

※ 評価値は、評価項目ごとに「優れている」…5点、「普通」…3点、「劣る」…1点とする。

→ アピールポイントとしている分野（評価項目）の評価値は、集計時に2を乗じて補正した結果を記載している。

※ 持続可能性、費用対効果、波及効果など特筆すべき要素があれば、3点以内で加点している（加点欄に数値、備考欄に理由を明記）。